

骨髄壊死の副作用が報告されている医薬品一覧

分類	商品名 (一般名)	剤形	規格	用法	適応	骨髄壊死の 副作用の頻度
ヒト型抗RANKL モノクローナル 抗体製剤	プラリア (デノスマブ(遺伝子組換え))	皮下注	60mg	6カ月に1回、皮下投与	●骨粗鬆症	0.10%
	ランマーク (デノスマブ(遺伝子組換え))	皮下注	120mg	4週間に1回、皮下投与 第1日、第8日、第15日、 第29日、その後は4週間に1回、皮下投与する。	●多発性骨髄腫による骨病変及び固形 癌骨転移による骨病変 ●骨巨細胞腫	1.80%
骨粗鬆症治療剤 (BP)	ボンビバ (イバンドロン酸ナトリウム水和物)	静注	1mg	1カ月に1回、静脈内投与	●骨粗鬆症	頻度不明
骨粗鬆症治療剤 (BP)	ボナロン (アレンドロン酸ナトリウム水和物)	点滴静注	900 μ g	4週に1回、30分以上かけ	●骨粗鬆症	0.03%
骨吸収抑制剤 (BP)	アレディア (パミドロン酸二ナトリウム無水物)	点滴静注	15mg 30mg	4時間以上かけて、単回 点滴静脈内投与 4時間以上かけて、4週 間隔で点滴静脈内投与	●悪性腫瘍による高カルシウム血症 ●乳癌の溶骨性骨転移	頻度不明
	ゾメタ (ゾレドロン酸水和物)	点滴静注	4mg /100ml	15分以上かけて点滴静 脈内投与 15分以上かけて3~4週 間隔で点滴静脈内投与	●悪性腫瘍による高カルシウム血症 ●多発性骨髄腫による骨病変及び固形 癌骨転移による骨病変	頻度不明
	テイロック (アレンドロン酸ナトリウム水和物)	点滴静注	5mg 10mg	約4時間かけて、単回点 滴静脈内投与	●悪性腫瘍による高カルシウム血症	頻度不明
骨粗鬆症治療剤 (BP)	ボナロン フォサマック (アレンドロン酸ナトリウム水和物)	錠剤	5mg	1日1回、毎朝起床時	●骨粗鬆症	頻度不明
			35mg	1週間に1回、朝起床時	●骨粗鬆症	0.03%
骨粗鬆症治療剤 骨ページェット病 治療剤 (BP)	ベネット アクトネル (リセドロン酸ナトリウム錠)	錠剤	35mg	1週間に1回、朝起床時	●骨粗鬆症	0.03%
			2.5mg	1日1回、起床時	●骨粗鬆症	頻度不明
			17.5mg	1週間に1回、起床時	●骨粗鬆症	頻度不明
骨粗鬆症治療剤 (BP)	リカルボン ボノテオ (ミノドロン酸水和物)		75mg	1日1回、起床時8週間連	●骨ページェット病	頻度不明
			1mg	月1回、起床時	●骨粗鬆症	頻度不明
骨粗鬆症治療剤 (BP)	リカルボン ボノテオ (ミノドロン酸水和物)		50mg	1日1回、起床時	●骨粗鬆症	頻度不明
			50mg	4週に1回、起床時	●骨粗鬆症	頻度不明
骨代謝改善剤 (BP)	ダイドロネル (エチドロン酸二ナトリウム錠)	錠剤	200mg	1日1回、食間	●骨粗鬆症、骨ページェット病 ●脊髄損傷後、股関節形成術後における 初期及び進行期の異所性骨化の抑制	頻度不明